

【学位授与の状況等】

◇ 令和4年度～令和7年度修了者の学位を取得するために要した年数

〈博士前期（修士）課程〉 ※標準修業年限2年、在学期間は4年まで（但し休学期間(通算最大3年)は在学期間に含めない）

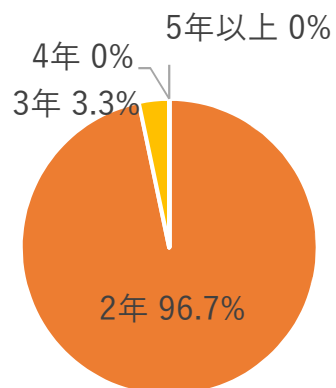
修了年度	学位取得者数 (人)	学位を取得するために要した年数とその人数						学位取得 平均年数
		2年	3年	4年	5年	6年	7年	
令和4年度	61	56	3	2	0	0	0	2.11
令和5年度	61	58	2	1	0	0	0	2.07
令和6年度	80	74	3	3	0	0	0	2.11
令和7年度	91	88	3	0	0	0	0	2.03
計	293	276	11	6	0	0	0	2.08

〈博士後期課程〉 ※標準修業年限3年、在学期間は5年まで（但し休学期間(通算最大3年)は在学期間に含めない）

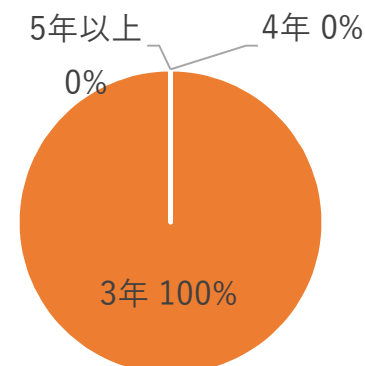
修了年度	学位取得者数 (人)	学位を取得するために要した年数とその人数						学位取得 平均年数
		3年	4年	5年	6年	7年	8年	
令和4年度	5	0	4	0	0	0	1	4.80
令和5年度	1	0	1	0	0	0	0	4.00
令和6年度	4	1	3	0	0	0	0	3.75
令和7年度	2	2	0	0	0	0	0	3.00
計	12	3	8	0	0	0	1	4.08

◇ 令和7年度修了者のうち、学位を取得するために要した年数ごとの修了者の割合

〈博士前期（修士）課程〉



〈博士後期課程〉



◇ 各年度の入学者に対する標準修業年限以内修了者の割合
〈博士前期（修士）課程〉

年 度	入学者数(人)	うち標準修業年限（2年）修了者の 人数と割合	
		人数(人)	修了率(%)
令和3年度	62	56	90.3
令和4年度	64	58	90.6
令和5年度	82	74	90.2
令和6年度	101	88	87.1
***	309	276	89.3

標準修業年限以内の修了率 = (標準修業年限修了者数) / (該当年度入学数)

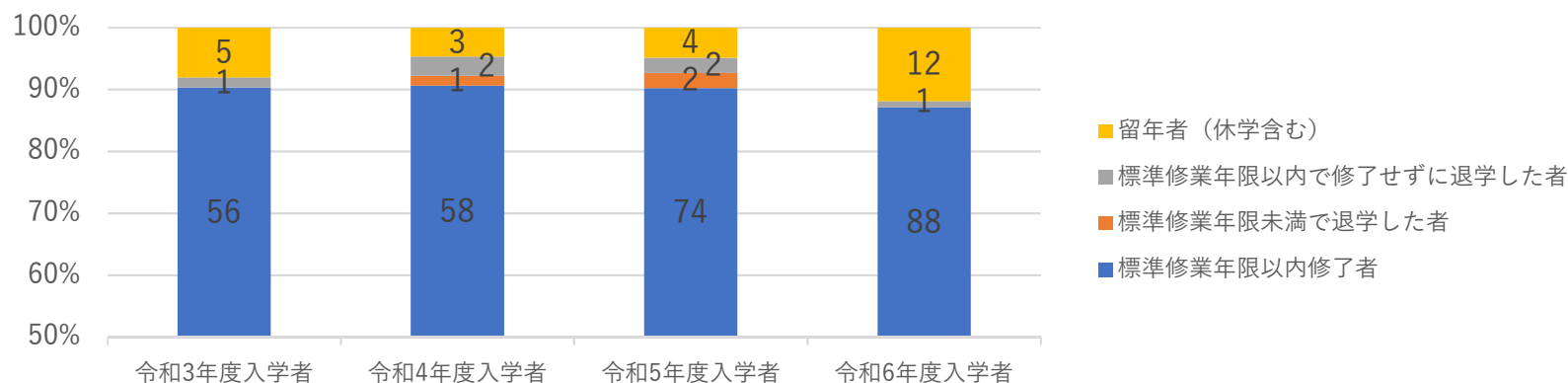
〈博士後期課程〉

年 度	入学者数(人)	うち標準修業年限（3年）修了者の 人数と割合	
		人数(人)	修了率(%)
令和2年度	2	0	0.0
令和3年度	4	0	0.0
令和4年度	1	1	100.0
令和5年度	8	2	25.0
***	15	3	20.0

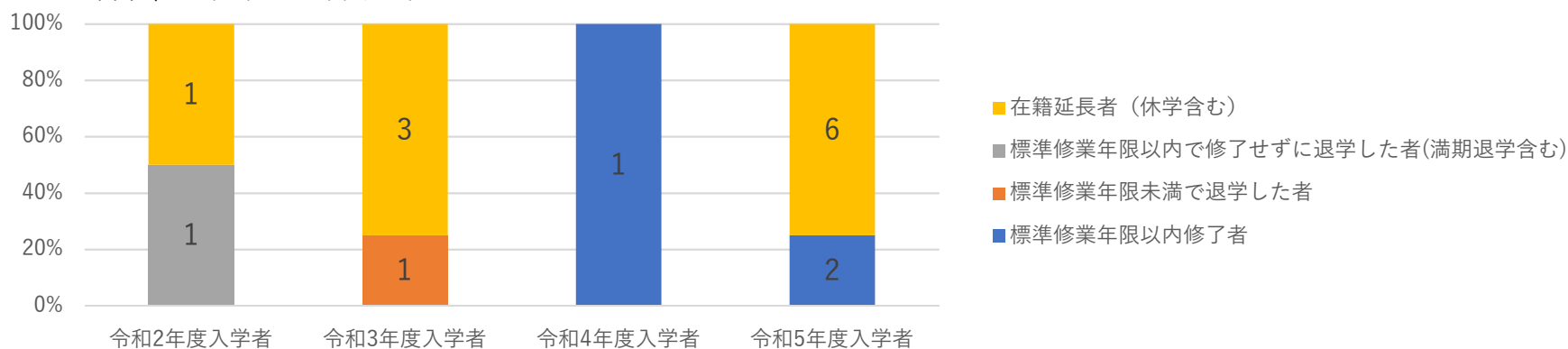
標準修業年限修了者は満期退学者を除く

◇ 各年度の入学者に対する標準修業年限以内修了者とそのほかの割合

〈博士前期（修士）課程〉※標準修業年限2年



〈博士後期課程〉※標準修業年限3年



〈分析および解説〉

大学院音楽研究科では、教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーを策定し、これに基づいて教育課程を編成している。また、学生一人ひとりの素養・適性・能力に応じた指導を行い、養成する人材像の実現を図っている（詳細は本学ウェブサイト「教育研究情報」参照）。

博士前期課程（修士課程）について過去4年の推移を見ると、全体の約9割が標準修業年限以内に修了している。残りの約1割の学生は、多くが論文未提出のため標準修業年限を超過しているものの、退学者の割合は2.9%にとどまっている。これらのことから、本学大学院の学修環境および指導が適切に機能し、学生の研究意欲や学修継続を支えていることがうかがえる。今後も引き続き、学生一人ひとりの状況に応じた学修支援に取り組んでいく。

一方、博士後期課程では、高度な専門的研究の遂行や学位論文の完成に一定の期間を要することから、標準修業年限以内の修了は2割にとどまっている。むしろ、このことは学位授与に関する厳正な基準が維持されていることを示す一つの指標と考えられる。その証左として、過去4年間の標準修業年限未満の退学者はわずか1名であり、多くの学生が継続的に研究活動に取り組んでいる状況が確認できる。本研究科では、指導教員による継続的な研究指導のもと、学位取得に向けて学生一人ひとりの研究状況に応じた支援を行っている。今後も研究指導体制の充実を図り、円滑な学位取得を支援していく。